

「とべないとり」 作：月峰隆一

あるところに、ちいさなとりがいました。

ちいさなとりはからだがよくて、ほかのとりとおなじようにはとべません。

ちいさなとりはとべないので、よるにほかのとりが、もりのきのえだにとまってねむってるときでもひろいひろい、へいげんのじめんのうえでよこになってねむります。

ちいさなとりはからだがよくいのでいつもひとりです。

あるひ、ちいさなとりのところに、ペリカンがやってきました。

ペリカンはちいさなとりをみて、こういいました。

「なんてかわいそうなんだ。だいじょうぶかい？」

ちいさなとりはいいました。

「はい、だいじょうぶです」

ペリカンはいいました。

「ちっともだいじょうぶそうじゃないよ。そうだ、みずをくんできてあげる。

ぼくはみずをくむのがうまいんだ」

ちいさなとりはいいました。

「ありがとうございます。でもだいじょうぶです」

しかしペリカンはいいました。

「いいよ、えんりよしないでまってる。いま、みずをくんでくるから」

ペリカンはとんでいきました。

しばらくすると、ペリカンはおおきなくちにみずをいれてかえってきました。

なんかいも、なんかいも、そのおおきなくちにみずをいれてはこびました。

そして、ちいさなとりのちかくには、いけができました。

ペリカンはいいました。

「これでみずのしんぱいはいらないよ」

「どうもありがとう」

ちいさなとりはそういって、みずをひとくち、いけからのみました。

ペリカンはそれをみて、まんぞくそうにうなずいてからいいました。

「おれいなんかいよ。こまってるひとをたすけるのはとうぜんさ」

そういってペリカンはどこかへとんでいきました。

あるひ、ちいさなとりのところに、すずめたちがやってきました。

すずめたちはちいさなとりをみて、こういいました。

「なんてかわいいそうなの。だいじょうぶ？」

「なんてかわいいそうなの。だいじょうぶ？」

ちいさなとりはいいました。

「はい、だいじょうぶです」

すずめたちはいいました。

「ちつともだいじょうぶそうじゃないわ。そうだ、たべものをもってきてあげる。

わたしたちはたべものをとるのがうまいのよ」

「ちつともだいじょうぶそうじゃないわ。そうだ、たべものをもってきてあげる。

わたしたちはたべものをとるのがうまいのよ」

ちいさなとりはいいました。

「ありがとう。でもだいじょうぶです」

しかしすずめたちはいいました。

「いいのよ、えんりよしなくてまってる。いま、たべものをもつてくるから」

「いいのよ、えんりよしなくてまってる。いま、たべものをもつてくるから」

すずめたちはとんでいきました。

しばらくすると、すずめたちはちいさなくちに、たべものをくわえてかえってきました。

なんかいも、なんかいも、そのちいさなくちでたべものをはこびました。

そして、ちいさなとりのちかくには、たべものやまができました。

すずめたちはいいました。

「これでたべもののしんばいはいらぬわよ」

「これでたべもののしんばいはいらぬわよ」

「どうもありがとう」

ちいさなとりはそういって、たべものをひとくち、やまからとってたべました。

すずめたちはそれをみて、まんぞくそうにうなずいてからいいました。

「おれいなんかいのよ。こまつてるひとをたすけるのはどうぜんよ」

「おれいなんかいのよ。こまつてるひとをたすけるのはどうぜんよ」

そういってすずめたちはどこかへとんでいきました。

あるひ、ちいさなとりのところに、●●●●がやってきました。

●●●●はちいさなとりをみて、こういいました。

「おお、なんてかわいそうなのだ。だいじょうぶかね？」
ちいさなとりはいいました。

「はい、だいじょうぶです」

●●●●はいいました。

「ちっともだいじょうぶそうじゃないぞ。そうだ、きをうえてあげよう。

きをうえればあんしんだぞ。わしはちからもちなんだ」

ちいさなとりはいいました。

「ありがとうございます。でもだいじょうぶです」

しかし●●●●はいいました。

「よいのだ、えんりよしないでまっぴいなさい。いま、きをもってくるから」

●●●●はとんでいきました。

しばらくすると、●●●●はあしに、きをもつてかえってきました。

なんかいいも、なんかいいも、きをはこびました。

そして、ちいさなとりのちかくには、もりができました。

●●●●はいいました。

「これで、あついひざしのしんぱいも、さむいかぜのしんぱいもいらさないぞ」

「どうもありがとう」

ちいさなとりはそういって、そのもりのかげにいつぽ、はいました。

●●●●はそれをみて、まんぞくそうにうなずいてからいいました。

「おいしいなんかいいのだよ。こまってるひとをたすけるのはとうぜんだよ」

そういって●●●●はどこかへとんでいきました。

あるひ、ちいさなとりのところにカラスがやってきました。

カラスはちいさなとりをみて、こういいました。

「こんにちわ」

ちいさなとりはいいました。

「こんにちわ」

カラスはいいました。

「ぼくはたびをしているんだ。ここはいいところだね。ひろいへいげんのなかに、もりがあつたからすぐわかったよ」

ちいさなとりはいいました。

「ありがとう。でもここには、わたししかいないんです」

カラスはいいました。

「しばらくここにいてもいいかい？ ぼく、ながたびでつかれちゃったんだ」

ちいさなとりはいいました。

「いいですよ。きのすむまでいてください」
にっこりわらってカラスはいいました。

「どうもありがとう」

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「ここはかぜがすずしくて、きもちがいいね」

そういって、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

ちいさなとりもおなじように、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「ぼくはみんなのきらわれものなんだ。」

ぼくはみんながかんがえないようなことをかんがえるから、きらいなんだって」

そういって、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

ちいさなとりもおなじように、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「そらがたかくて、たべものがおいしいね」

そういって、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

ちいさなとりもおなじように、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「ぼくはみんながきらいじゃないんだ。」

ただ、ぼくはみんながなにかんがえずに、おなじことをするからいやなんだ」

そういって、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

ちいさなとりもおなじように、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「だいぶ、すずしくなったね」

そういって、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

ちいさなとりもおなじように、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「みんなぼくにちかよらないんだ。ぼくのはねがまっくらだから、こわいんだって。

こんなまっくろなはねは、ぼくだけだから。だから、ぼくはいつもひとりなんだ」

そういって、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

ちいさなとりもおなじように、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「さむくなつてきたね」

そういって、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

ちいさなとりもおなじように、やまのたべものをたべ、いけのみずをのみ、もりのこかげのじめんによこになつてねむりました。

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「そばにいてくれる？」

カラスはにっこりわらっていました。

「うん」

ちいさなとりは、えがおでいいました。

「どうもありがとう」

あるひ、ちいさなとりにカラスがいました。

「あったかいね」

そういって、やまのたべものをたべ、いけのみずのみ、もりのこかげのじめんによこになってねむりました。

「うん」

ちいさなとりはそういって、おなじように、やまのたべものをたべ、いけのみずのみ、もりのこかげのカラスのそばによこになってねむりました。

あるひ、ちいさなとりとカラスは、そろってうたをうたいました。

「へただね」

「そうだね」

そういって、ちいさなとりとカラスはくすくすと、たのしげにわらいました。

カラスはやまのたべものをたべ、いけのみずのみ、もりのこかげのじめんによこになってねむりました。

ちいさなとりも、やまのたべものをたべ、いけのみずのみ、もりのこかげのカラスのそばによこになってねむりました。

あるひ、ちいさなとりはカラスにいました。

「ばいばい」

カラスはにっこりわらっていました。

「ばいばい」

ちいさなとりは、えがおでいました。

「どうもありがとう」

あたりいちめん、しろいひでした。

あるひ、カラスがいました。

「さむいね」

そういって、おかのたべものをたべ、みずたまりのみずをのみ、はやしのこかげのじめんによこになってねむりました。

あるひ、カラスがいました。

「きょうもさむいね」

そういって、おかのたべものをたべ、みずたまりのみずをのみ、はやしのこかげのじめんによこになってねむりました。

あたりには、みどりのめがでてきていました。

あるひ、カラスがいました。

「いい、てんきだね」

そういって、さいごのたべものをたべ、さいごのみずをのみ、1ぼんだけのこかげのじめんによこになりました。

そして、にっこりとわらっていました。

「どうもありがとう、おやすみ」

そして、さいごのねむりにつきましました。

あたりいちめん、ひろいひろいそうげんでした。